

平成27年度 調査研究活動実績

氏名 上田 貢太郎

本年度（27年度）の政務調査研究に関する主な活動の実施状況は次のとおりであります。

①人口減少問題について

都市部に居住する健康でアクティブなシニア世代の高知県への移住を促進するため、CCRC 構想先進地の金沢を視察。

尾崎知事、山本有二衆議院議員、高知大学の受田副学長らに出席して頂き勉強会を企画。450人以上の方にご参加頂き、CCRC 構想の事業イメージや、高知県が実現を目指す背景、また他都市の事例等を紹介し、事業推進に向けて醸成をはかった。

②中山間対策について

移住促進、産業振興への取り組み、鳥獣被害対策や交通手段の確保対策など、集落活動センターなどを訪問し聞き取り調査を行う。

危機意識及び対策の重要性を今こそ共有し、地元の皆さんと今後もしっかり連携し取り組んでいく。

③南海トラフ巨大地震対策について

県都の長期浸水対策、住宅の耐震改修、空き家対策、緊急避難場所対策、生活再建支援対策など、東日本大震災の教訓を学びその対策について視察研究。

④観光振興について

2020年東京オリンピックが行われるが、真の地方創生の実現のためには、日本の各地と東京がそれぞれの魅力を高め、互いに協力し、共に栄え成長することが必要。そして外国人旅行者が東京と各地の双方を訪れるよう誘致を進め、全国で外交人旅行者により経済効果を高める必要がある。

そこで平成27年度は東京と東北地方を結ぶ観光ルートを設定したが、平成28年度は中国・四国地域で観光ルートを設定。共同で世界に向けて各地の魅力を発信する。その為、香川の県議らと意見交換。その後都庁を訪問しオリンピック担当部長に話を聞いた。

⑤国内外の経済情勢、政治情勢について
日韓親善友好の為、現地を視察調査

その他の政務調査項目

- ・高知県産業振興計画の進捗状況について
- ・行政と大学との連携について
- ・地球温暖化と再生可能エネルギーについて
- ・地域福祉について